

2月29日に卒業式が終わり、3年生が巣立っていきました。3月2日は本来は代休となるはずでしたが、新型コロナウイルス対策で3月3日からの臨時休業が決まっていたので登校日に変更し、3月15日までの臨時休校に対する過ごし方と学年末考査の返却及び3月12日の高校入試のための大掃除の時間にしました。その後兵庫県での感染者が確認され、新型コロナウイルス感染に関しての関心は高まりを見せてきたと思います。また、マスクが店頭からなくなること、臨時休校に伴う学童保育や保育所の問題、そして経済への影響など大きな影響を及ぼすことになってきました。日々刻々と伝えられる情報に戸惑うことも多いのも事実ですが、生徒の皆さんは落ち着いた生活を送れているのでしょうか？普段忙しい時は「学校を休みたいな」とか「家で休んでおきたいな」とか思うこともあろうかと思いますが、部活動もなく家にじっとしているのは結構苦痛を感じるではないでしょうか？最近ではスマホや携帯電話などゲーム感覚でできるものもあるのでそれなりに時間をつぶしているのでしょうか？と心配は尽きません。本校のように部活動に一生懸命取り組んでいる皆さんのことです、気分転換に各自でトレーニングに励んでくれているものと思います。規則正しい生活を送り免疫力を高め感染への抵抗力をつけておいてください。予断を許さない状況には変わりはありませんから・・・。

本来なら球技大会、コーラス大会と考査後の行事が続き、また就職希望者はインターンシップへ出かけたり、学年ごとの進路ガイダンスがあったりする予定でしたが、すべてがなくなり残念な気がします。特にコーラス大会はここからという時でしたので、一つ思い出が減ってしまったような感じです。実際、生徒が全くない学校は、入試に向けた準備や新学年に向けた準備、3年生の国公立後期試験に向けた準備などすることはたくさんあるのですが、声も響かない寂しい感じがして、やはり生徒あつての学校だということを痛感させられています。先行きが見通せず歯がゆい思いをしているというのが現状です。

いつもは写真など掲載しながら生徒の皆さんの活動をお伝えできるのですが、それもできません。ただ、こういった形でできた時間をどのように使うか、より有効な時間にするために工夫できるか、工夫したかが今後を大きく左右するようにも思います。自分自身で課題を探り、自ら取り組める時間を持つたわけですから無駄に過ごした人と有効に活用できた人とでは大きな差になって現れます。実際、阪神淡路大震災の時など地域にもよりますが、私が勤務していた学校はこの時期にはまだ3時間くらいの授業しかできず、部活動も平日は全くできない状況でしたし、近くの公園で個人練習しようにもその公園がテント村になっているという状況でした。ですから当時のことを知る私にとっては、感染さえしなければ(感染するリスクは避けられるので)阪神淡路大震災の時に比べれば落ち着いて生活を送ることはできます。比較することはできませんが、その当時もその経験をばねに4月以降の新学年では活動できる喜びを知った生徒たちが本当に自分たちのできることに一生懸命に取り組み、2か月以上十分な学校生活を送れなかったハンデをものともせず自分たちの力に変えてくれていたように思います。(当時は被災した学校とそうでなかった学校、地域の差は大きかったと思います。今回は全国一律ですからみんながそのような状況なので)自らを成長させよう、この臨時休業をうまく活用しようと考えたものは大きく伸びるはずです。私は、皆さんがそうであると信じて次の再会を楽しみにしていますし、令和2年度の行事を、部活動を盛り上げ自らの進路実現もしっかりと考えられる生徒になってくれていると思っています。

3月15日が延期されるのかどうか、どの段階で次のことが知られるのか未だわかりませんが、できることをしっかりやってください。また普段見ることができない景色を目にすることも可能です。朝早く起きて空を見上げるとか、散歩するとか、自宅周辺の知っているはずなのに変化に気づいていなかったことなどを感じ取っててください。いつもと違う感覚、違った見方、今だから見ることができるようもあるだろうと思いますので、そういった感性も養ってほしいと思っています。

3月9日、プロ野球のオープン戦、大相撲等無観客での試合の放送が先週末ありました。ニュースで見ましたが、普段は聞こえないような力士の息遣いやキャッチャーミットに収まるボールの音などが会場に響き渡りとても新鮮な感じがしました。選手も応援のありがたさを口にしていたのですが、当たり前のものがなくなった時こそ真価を問われるのかなと思います。今の皆さんもそうですよね。学校生活という当たり前の場がなくなったわけですから、その時をどう過ごすか、どう考えるか、自分のやるべきことは何か考える時です。また、3月11日には東日本大震災から9年を迎えます。当たり前の生活を一瞬で奪われた方々がおられます。近年の自然災害もそうです。家が洪水で流されたり、会社や工場が水に浸かったりと大きな自然災害で日常を奪われた方々も

多数います。言葉にはできないしんどさや苦しさ、歯がゆさなど多くのものを抱えなければならなくなった方々に向き合うためには、当たり前前の生活ができていることへの感謝の気持ちを忘れず、困っている方々への協力を惜しまないことが大切になってくると思います。今この時にしっかりと考え向き合っていかなければならないと思いました。今週もどのような動きになるかわかりません。正しい情報を得て、判断できるようにしなければなりません。

先日スーパーに買い物に行くとマスク、トイレットペーパー、消毒薬の棚が全く空になっていました。報道通りであるとはいえ、トイレットペーパーまで…。情報を正しく理解しなければ踊らされるとえらいことになると思いました。SNSでの情報の拡散の恐ろしさを知るとともに情報提供にSNSを使用する場合のモラルも大切だと感じています。感染者の情報もどこまで出すのかが市や県によっても違いがあり、そのことが話題になっていました。私たちが安心して生活していくためにはどのような情報がどの程度必要なのかをしっかりと考える必要性も感じました。

今回の臨時休業では、普段はあまり考えないことを考える時間もでき貴重な体験です。あと1週間で臨時休業が終わることを祈りつつ、感染拡大に歯止めがかかり終息に向かうことを期待して無事に高校入試を終えることができるよう準備をしていきたいと思っています。